武田光由議員
（公明党）

ＬＩＮＥ公式アカウントの通報機能

問　登録者の実績について伺う。また、公園、道路など、通報を受けた後の対応について伺う。

答　「市長」令和６年２月より運用を開始し、登録者へ市の情報を随時発信している。登録者は、12月10日現在で１、８６４人。ＬＩＮＥを活用した通報機能は、通報した写真、緯度、経度、状況説明文のデータが、管理システム上に届くよう設定されており、データを確認後、道路関連の損傷は建設課、公園遊具の損傷は都市整備課へ速やかに情報を提供している。担当課は現地確認等を行い、修繕や応急措置等の対応を行っている。

地域猫活動

問　地域猫活動は、地域に合った方法で管理者を明確にし、対象となる猫を把握するとともに、餌やふん尿の管理、不妊・去勢手術の徹底などを地域ルールに基づいて適切に管理し、これ以上数を増やさず、１代限りの生を全うさせる活動である。そのため、地域猫活動は、人と飼い主のいない猫が共生していくための有効な方法の一つと考える。今後、市として、市民への啓発及び情報提供、必要な支援等を行っていく考えがあるのか伺う。

答　「市長」市ホームページにて、県作成の地域猫活動に関するガイドラインを掲載し、飼い主のいない猫の繁殖を防ぐ取組として情報を発信しているが、活動を効果的に推進するためには、地域住民のご理解とご協力が不可欠のため、猫の適正飼養の重要性とともに、活動の目的や手法等について周知に努める。また、地域猫活動は、ボランティアに支えられており、その経済的及び労力的な負担は決して小さくはないものと認識している。支援策等について、先進事例を参考に検討してまいりたい。

ヤングケアラーの支援

問　ヤングケアラーを把握する調査を実施することが重要であり、市では実態調査はいつ、どのように実施したのか、今後するのか伺う。

答　「市長」独自の調査は実施していない。しかしながら、法改正により、自治体に対し、ヤングケアラーの把握及び支援体制の整備が位置づけられたことを踏まえ、現状把握に努めていくことは必要であると認識している。ヤングケアラーは自身を当事者と認識しない場合が多く、周囲の大人も深刻な状況に気づきにくいという実態を念頭に置き、市独自の実態調査の実施も含め、適切な対応を図ってまいる。

内山隼人議員
（Think globally, Act locally!）

「こども基本法」の〝子どもの意見の尊重〟の取組は

問　こども大綱に「意見表明、社会に参画する上でも欠かせない意見形成の支援を進め、意見を表明しやすい環境づくりを行う、困難な状況に置かれた子ども・若者や様々な状況にあって、声を聞かれにくい子どもや若者等について十分な配慮を行う。」とある。心がけていることは。

答　「学校教育課長」学校では、全ての子どもたちが意見を示せるよう、日々の教育活動の中で様々な工夫をしている。例えば、違いを認め合える文化、自己肯定感の高揚、自分はどうするかを決定する機会を持ち、異なる意見を認め合える学級の雰囲気の醸成を行っている。

問　こども大綱の意義に「子どもや若者にとって自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながる。ひいては、民主主義の担い手の育成に資する。」とある。民主主義の担い手を育てていくためにも、意見表明、合意形成、意見の反映のより一層の充実が必要と考えるが。

答　「学校教育課長」学校現場では、対話を通じた合意形成の経験を重視し、授業での話合い活動や学級会、生徒会活動を充実させ、子どもたちが安心して意見を述べられる環境を整えることが一層求められる。今後も、意見表明、合意形成、参画の機会を日常的に保障し、民主主義社会を支える人材育成につなげていくことが必要であると考える。

教員の働き方改革の状況は

問　労働基準法では、労働時間が６時間以上超え８時間以内の場合45分以上の休憩を取らなければいけないとなっているが、学校の先生は休憩を取れているか。

答　「学校教育課長」学校の教員の１週間当たりの勤務時間は、千葉県の条例で38時間45分と定められている。１日では７時間45分となり、１日当たり45分間の休憩時間が与えられている。しかしながら、生徒指導や授業準備、保護者対応など、様々な理由により、必ずしもしっかりと確保できていない状況も見られることから、教員の勤務に関わる課題の一つとして捉えている。